

視覚障害者にも利用できる金融機関めざして

金融機関と視覚障害

者団体との懇談会資料

2010年9月8日 金融庁内会議室

出席者

- | | | | | |
|---|--------|---|----|---------|
| 1 | 田中 章治 | 男 | 全盲 | 会長 |
| 2 | 山城 完治 | 男 | 弱視 | 総務局長 |
| 3 | 織田 洋 | 男 | 全盲 | 総務局次長 |
| 4 | 野島 潔 | 男 | 全盲 | 執行委員 |
| 5 | 織田 津友子 | 女 | 全盲 | 東京・事務局長 |
| 6 | 佐藤 直子 | 女 | 晴眼 | 補助者 |

全日本視覚障害者協議会(全視協)

東京都新宿区大久保 1-1-2 富士一ビル 4 階

TEL03-3207-5871

Email k-yamashiro@mvd.biglobe.ne.jp

私たちのねがいと実態

国連において、障害者権利条約が採択されるなど、障害者の平等な暮らしと社会参加の推進は、社会と地域の課題であり、世界の流れとなっています。

現代社会において、市民として社会生活を営むために金融機関の利用は欠かすことができません。しかし、金融機関は、まだまだ視覚障害者に開かれていないのが現状です。

入口の場所がわからない、入口から窓口や ATM への移動ができない、サインができないことを理由に口座開設を拒否する事例がある、利用できる ATM が少ない、通帳の内容を自分で確認できないなど、大きなバリアがあるからです。口座の開設が認められない、その悔しさはとても言い尽くせません。

しかし、この状況は、改善できないものではありません。

点字ブロックや音声案内の設備、複数職員の立会のもとでの代筆の制度化と徹底、受話器式の ATM、入出金通知の点字化は、一部実施されています。私たちは、求めたいのです。金融機関の社会的役割を！ その具体化としての位置づけと実行を！

金融庁におかれましては、この流れの飛躍的な推進にご尽力いただきますようお願いいたします

要望事項

1. 金融機関の入口が、視覚障害者にもわかるようにするために、以下のことを実施して下さい。
 - ①歩道から入り口まで視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)の敷設を推進して下さい。
 - ②入り口へのメロガイドロ(日常生活用具として給付されるシグナルエード=発信機に対応して音を発する装置)の設置を推進して下さい。
2. 入り口から ATM 及び窓口まで点字ブロックを敷設し、視覚障害者も安心して移動できるようにして下さい。
3. 全ての視覚障害者が、ATM を使えるようにするために、次のことを実施して下さい。
 - ①受話器式の視覚障害者対応 ATM 機を大幅に増やして下さい。郵便局のように全ての ATM が全盲者にも使えるようにして下さい。
 - ②弱視者も ATM が安心して使えるようにするために、画面のコントラスト及び文字の拡大を推進して下さい。
 - ③振込み及び暗証番号の変更ができるようにして下さい。
4. 普通預金口座入出金の点字明細の発行を推進して下さい。

5. 複数の銀行員の立会いによる確認などの条件の内部規定を定め、視覚障害者への代筆が拒否されないようにして下さい。
6. 本人確認・認証の開発のもとでも、視覚障害者が排除されないようにして下さい。

全視協運動・目標・実績

〔運動の目標と主な内容〕

「安心して歩きたい」「自由に読みたい・書きたい」「能力を生かして働きたい」は、視覚障害者の切実なねがいです。そして、同年齢の市民と平等に生活し、社会参加できる環境を実現するためには、「障害を補う技術開発」「視覚障害者に対する理解と啓発」「人権・民主主義・平和な社会づくり」を飛躍的に進めなければなりません。そしてこの運動は、視覚障害者・家族・関係者と国民、行政・企業などが、障害者のねがいと生活実体をまっすぐに受止め、解決に向けて歩むことなしには大きく前進しません。多くのみな様のご理解とご支援を訴えます。

〔運動の実績〕

全日本視覚障害者協議会は、1967年に結成し、25都道府県に加盟組織を持ち、平等と社会参加への会員の切実なねがいにもとづいて、様々な運動に取り組み、以下のことなどの実現に大きく貢献しています。

- 堀木訴訟を支援し、障害福祉年金と児童扶養手当の併給(当時)を実現を開きました。
- 東京・神奈川などでの中途視覚障害者の職場復帰を支援し、就労を守りました。

- 駅ホームから落ちて電車に巻き込まれて死亡した視覚障害者の裁判を支援するとともに、各地で視覚障害者誘導用ブロックの敷設を働きかけ、同ブロックの普及に貢献しました。
- 活字書と点字書の価格差補助制度の創設を求めて運動し、同制度を実現させました。
- 国家公務員採用試験における点字試験の実施をめざして運動し、同制度を実現し、各自治体における点字試験の実施を広げています。
- 落ちない駅・ホームをめざして、可動式ホーム柵の設置を求めて運動し、札幌・仙台・東京・埼玉・神奈川・愛知・大阪・京都・福岡などでの可動式ホーム柵駅を実現しています。
- 会員の要求に基づいて音響式信号機の設置を求めて各地で運動し、同機の増設を推進しています。